

メディカル・クォーターリー

# MEDICAL QUARTERLY

特集

対談

地域における当院の役割

「認知症治療と

「子どもの頭部打撲」について

寺岡記念病院 理念

トータル&シームレスケア  
全人的で切れ目のない医療提供の推進



社会医療法人社団陽正会  
寺岡記念病院



〒729-3103  
広島県福山市新市町新市37番地  
TEL 0847-52-3140(代)  
Email / info@teraoka-hosp.jp  
https://www.teraoka-hosp.jp

寺岡記念病院





テーマ

## 認知症治療と地域における当院の役割 ～高齢化社会における課題と展望～

寺岡記念病院脳神経外科の竹信医師と小池医師に「認知症治療と地域における当院の役割」をテーマに対談していただきました。ぜひご一読ください。



### 1.福山市北部・府中での人口高齢化と認知症患者数について

**小池医師:**長年にわたって、脳神経外科領域の医療に携わってこられた竹信先生は、当地域の高齢化社会における認知症医療についてどのようにお考えですか？

**竹信医師:**高齢化社会の進展に伴い、認知症患者数は年々増加しています。厚生労働省の調査によると、2025年には65歳以上の高齢者は**3,677万人**、認知症患者数は**700万人**を超えると推計されています\*1。当院の診療圏域でも高齢化が進んでいるのが現状で、2023年に寺岡暉先生がまとめられたデータによると、2005年と2023年とでは65歳から95歳までの年齢層が2倍以上になっています。認知症の方も比例して増加していましたね。

**小池医師:**私は昨年从这个病院に勤め始めましたが、数字をみてもわかるように高齢化はこの地域の課題だと本当に感じました。認知症は進行してくると、自身ができることが少なくなり家族のサポートが必要となってきます。しかし、少子化の影響や若年の方の広島県外への流出と相まってサポートできる状況が非常に難しくなっていると思います。

**竹信医師:**そういう観点からも、**早期発見・早期治療開始が重要**であり、**地域医療の中で適切な診療・サポート体制を構築**することが課題であり求められていると思います。地域住民の方々に、認知症の初期症状に気づいたときはもちろん、少しでも気になる

症状があれば遠慮なく受診してもらえよう、**継続的に啓発活動**を行うことが肝心です。今回のこの対談もその一助となつて欲しいですね。

**小池医師:**そうですね。認知症の予防は、生活習慣病の予防と同様に、**運動、バランスの取れた食生活、社会参加**など、一人ひとりの取り組みが重要です。私たち医師として、地域住民に対し適切な指導を続けていく責務がありますね。

**竹信医師:**認知症の方が、住み慣れた地域で自分らしく生活を送れるよう、**医療、介護、行政**などが連携し、**切れ目のない支援体制**を整備することが必要でしょう。



## 2. フレイル予防について

**小池医師:**私も医師として、認知症の方やご家族に寄り添い、生活の質の維持・向上を目指す努力が何よりも大切だと痛感しています。

**竹信医師:**地域住民一人ひとりにも、認知症の理解を深めてもらう必要がありますね。高齢者を敬う心、助け合いの心を育むことで、認知症の方が排除されることなく、地域に溶け込んでいけるはずです。

**小池医師:**認知症の予防の観点から、もう一つ重要な視点は「フレイル」でしょうか。

**竹信医師:**確かに、フレイルも重要です。身体的・精神心理的、社会的要因が関係し、加齢に伴うさまざまな機能の低下が生じた状態をフレイルと呼びます。最近ではテレビや行政などでも取り上げられるようになってきましたが、まだまだ言葉だけで対策は浸透しきっていない印象で

すね。運動機能低下、低栄養、うつ、認知機能低下など多様な側面で顕在化するので、包括的な予防対策が必要不可欠です。

**小池医師:**そうですね。フレイルは特に社会参加などが低下すると顕著に進行する印象があります。診察で患者さんとお話すると「家に籠ってしまう」「社会との関わりが少なくなり、運動量が減っている」などとお聞することが多く、なんとかして周囲との関

わりが保てないものかと苦慮しています。

私たちが果たすべき役割の一つは、早期の認知症やフレイルを検出し、高齢者の定期的な健康チェックや身体機能の評価を行うことで、早い段階で問題を発見し、適切なケアや支援を提供することだと思っています。

**竹信医師:**そのとおりですね。患者さん本人やそのご家族に対する働きかけも重要です。症状や進行について理解してもらい、適切な対応やケア方法を提供することが必要です。

**小池医師:**他にも、地域における包括的な支援体制の構築も重要だと思っています。介護サービスやリハビリテーションプログラム、地域活動への参加など、患者さんやご家族が必要とする支援を提供することが求められます。関連施設のローカルコモンズしん

いちでは寺岡暉先生の理念にそって地域住民一人ひとりの居場所を提供したいという思いでガーデンカフェ（認知症カフェ）など定期的な意見交換が可能な場の提供も行っているので、ぜひ利用して頂きたいですね。

**竹信医師:**社会参加のきっかけになればいいですね。適切な栄養摂取や運動指導も重要ですね。フレイルを早期に対処し、身体機

能の低下を遅らせることができれば、患者さんの生活の質を向上させることができます。そういった意味で地域の住民の皆さんが可能な限り自立して生活できる期間を延ばすことが地域全体の利益につながると考えています。

**小池医師:**フレイルの予防も視野に入れながら、地域住民の健康づくり、介護予防に取り組んでいかないとはいけませんね。





### 3. 認知症新薬「レカネマブ」について

**小池医師:**最後に、認知症が発症した場合、従来の認知症治療薬に加え、昨年承認された新薬「レカネマブ」が注目されていますね。

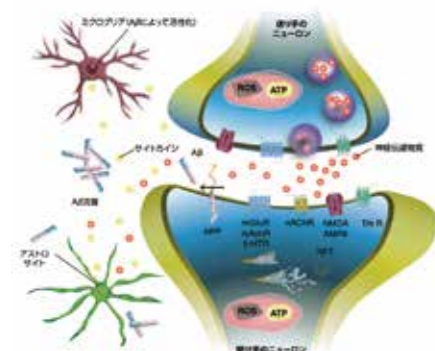
**竹信医師:**レカネマブは、脳内に蓄積するアミロイドβタンパク質を除去することで、“初期および軽度”アルツハイマー病の進行を抑制する効果が期待されています。しかし、**投与が可能となる条件**を厳密に設定されています。

**小池医師:**確かにかなり厳密ですよ。高額な薬剤でありますし、どの薬も同じですが一定の確率での副作用なども報告されていることから定期的な検査も必要となりますね。

**竹信医師:**当院でもレカネマブ専用の外来を設置し、ホームページでも詳細を記載し、みなさんにご案内するようにしました。<sup>※2</sup>

**小池医師:**投与までに**2回受診**をして**検査**を行う必要があります。認知機能の詳細な評価や、頭部MRIや髄液検査(福山府中地域ではアミロイドPET検査を現時点では実施できないので、他院へ検査を依頼します)が必須となります。

**竹信医師:**今後、投与が可能とな



シナプスでアミロイドβが産生され凝集していく図

る患者さんがどの程度おられるのか、とても気になっています。少しでも多くの方の症状緩和に役立てたらと思っています。

**小池医師:**新薬の恩恵をなるべく多くの人に届けられるとよいですね。**高齢化社会における認知症医療は、地域全体で取り組む課題**です。医師としての役割を果たし、認知症の方々とご家族を支えていく必要があると感じています。

**竹信医師:**私も同感です。認知症医療は奥深い分野であり、常に新しい知識や情報が求められます。私たち医師も学び続け、**地域医療の発展**に貢献していくことが重要です。

**小池医師:**ぜひ先生と一緒にこの地域に貢献していきたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。



## 子どもの頭部打撲



### 子どもが頭をぶつけたとき、病院を受診したほうがいい？



寺岡記念病院  
脳神経外科 医師  
土屋 貴裕

子どもは体型的に頭が大きく、注意力や反射神経が未熟なため、頭をよくぶつけます。軽症では様子を見て大丈夫なことがほとんどですが、病院を受診した方がいいか判断に迷う場合もあります。まずは、「**どういう状況で何に頭をぶつけたのか**」「**どれくらいの高さから落ちたか**」「**ぶつけた直後に意識を失っていないか**」といったように、頭をぶつけたときの状況を確認することが大切です。

次のような場合は家で様子を見ていてもいいでしょう。

- 直後は泣いたが、その後はいつも通り
- 顔色や機嫌が悪くない
- 嘔吐・けいれんなどが無い

しかし、次のような症状が見られる場合はすぐに病院を受診した方がいいでしょう。**重症の場合は迷わず救急車を呼んでください。**

- 顔色が悪い、元気がない
- 意識がはっきりしない
- 行動や会話がおかしい
- すぐに眠ってしまう
- 短時間でも意識を失った
- けいれんやひきつけが起こる
- 手足の動きがおかしい
- 吐き気や嘔吐を繰り返す
- ものが二重に見える
- ぶつけた部分がへこんでいる

乳児の場合

- 機嫌が悪い
- 視線が合わない、反応が薄い
- ミルクの飲みが悪い

これらの症状があるのか判断がつかない、あるいは「**普段と違う**」「**なにかおかしい**」と感じたときは病院を受診したほうがいいでしょう。たとえ症状がなくても、どうしても心配、あるいは不安な気持ちがある場合は受診することをお勧めします。

※1: 高齢者数の推移について [https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/zenbun/pdf/1s1s\\_01.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf)  
認知症患者数の推移について <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/nop101.pdf>  
※2: レカネマブ外来の詳細については当院ホームページをご参照下さい。 <https://www.teraoka-hosp.jp>





## どのような検査をするの？

「頭の中に出血がないかどうか」「頭蓋骨の骨折がないかどうか」を調べるためには、**CT検査**と呼ばれる5分程度の検査を行います。しかし、頭をぶつけて病院を受診した全ての子どもにCT検査をするわけではありません。なぜならCT検査の放射線被曝量はレントゲン検査の約100倍と言われており、特に小児では白血病や脳腫瘍といったがん発症のリスクを高める可能性があるためです。そのため、医師が診察して**本当に必要と判断した場合**にのみ、CT検査を行うようにしています。

CT検査を行うべきかの国際基準の1つとして英国が提唱している**NICE**というガイドラインでは、右のうち1つでも当てはまる場合にはCT検査が必要とされています。

- ①5分以上の意識消失 ②5分以上の健忘
- ③傾眠傾向 ④連続しない3回以上の嘔吐
- ⑤虐待の疑い ⑥外傷後の痙攣
- ⑦GCS14未満、1歳未満はGCS15未満  
(GSCは15点満点の意識レベルの評価点数)
- ⑧開放骨折・陥没骨折の疑い、大泉門膨隆
- ⑨頭蓋底骨折の疑い ⑩神経学的所見あり
- ⑪1歳以下で、頭部に5cm以上の打撲痕、腫脹、挫創
- ⑫危険な外傷機転：高エネルギー外傷、3m以上の転落。

これらの他にも診察所見を総合的にみて、ご両親の希望を確認した上でCT検査を受けるか、受けなくて様子を見るか判断しています。



## どのような病気があるの？

子どもに特徴的な頭部外傷をいくつかご紹介します。

### 脳振盪

頭部打撲による一時的な脳の機能障害で、めまいや頭痛、吐き気などの症状が現れます。特に脳には異常所見はなく、意識障害がないものから高度のものまであります。

### びまん性軸索損傷

脳や脊髄の神経繊維が広範囲に損傷し、身体機能の障害を引き起こす状態です。軽症なものから、外傷後意識状態の悪化が続く重症のものまであります。

### 脳出血

脳出血の中には脳内血腫や急性硬膜下血腫などがあります。子どもは脳の表面に存在する血管が細く弱いため血腫(硬膜下血腫)を形成しやすい傾向があります。症状や血腫の大きさによっては緊急の手術が必要になることもあります。

### 皮下血腫(たんこぶ)

打撲により頭の皮膚の下に血液がたまる状態です。大抵は自然に吸収されますが、大きな血腫や痛みが強い場合は医師による診察を受けた方がいいでしょう。

### 陥没骨折

子どもの頭蓋骨は薄く弾力性あり割れにくく、骨折線のない陥没骨折を起こしやすいです。ピンポン球骨折とも呼ばれます。脳を圧迫するようであれば整復手術が必要なこともあります。



## 病院から帰ったあとに注意することは？

頭をぶつけた直後に症状がなくても、子どもの場合には時間が経ってから症状が出てくる場合があります。たとえ医師の診察で問題ないと言われても、頭をぶつけてから24時間程度は次のような症状が出てこないか慎重に経過観察し、症状が変わった場合は病院を受診するようにしてください。

- ☑頭痛や嘔気が悪化してきた
- ☑ぼーっとしている
- ☑手足が動かさづらい、しびれる
- ☑けいれんが起こる
- ☑ものが二重に見える

帰宅して経過観察する際には、**激しい運動、長風呂、暴飲暴食**などは避けるようにしましょう。特に体調が変わりなければ徐々に普段通りの生活に戻して様子を見ても大丈夫でしょう。





# 当院の 病院食紹介

今回は入院患者さんに提供している「病院食」をご紹介します。(栄養管理士 丁野)



## 01 食事形態



医師の指示に基づいて入院している患者さん一人一人の疾患や嚥下機能に合わせて食事を提供しています。  
左側の写真は食材を5mm幅にカットし、あんをかけた細きざみ食の主菜です。



## 02 配膳チェック

配膳時には栄養士も厨房に入り、配膳ミスが無い食札と照らし合わせながら確認をしています。



## 02 行事食の提供

当院では祝日や各イベントに合わせた料理やデザインの提供を行っており、配膳時には手作りのカードを添えて提供しています。





第14回 2024 04 13(土)

# 手づくりマルシェ

第14回手づくりマルシェ 4/13(土)に開催しました。  
ご出展、ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



バック、ポーチなど  
手づくり作品、フード、ドリンクなど  
約60店舗が大集合!!

すばる幼稚園の子どもによる  
ジャンボリミッキー



伝承による  
けん玉パフォーマンス



けん玉体験もできたよ



キッチンカーもきたよ



TOMO Dog School の  
可愛い犬も大集合



子どもも楽しめるワークショップ



Studio b.blによるキッズダンス



Paranticalによる歌



かき氷も大人気

次回は秋ごろの開催を予定しています。  
手づくりマルシェ Instagram ⇨  
イベントの最新情報はこちらから  
(在宅支援室 稲垣)





# /// 新入職員紹介 ///

新年度になり、新しい仲間が加わりました。

## 看護部

看護部には新たな仲間が増えました。外来、病棟で見かけた際は、是非声をかけてください。



**松岡** (看護師)  
頑張ります！  
よろしくお願いします。

**宮地** (看護師)  
精一杯頑張ります！  
よろしくお願いします。

**山下** (看護師)  
緊張しいですが  
一生懸命頑張ります。

**小松原** (看護師)  
一生懸命頑張ります。  
よろしくお願いします。

**高橋** (看護師)  
一生懸命頑張ります。  
よろしくお願いします。

**福原** (看護師)  
一生懸命頑張ります！  
よろしくお願いします。

**眞加部** (看護師)  
一生懸命頑張ります！  
よろしくお願いします。

**宮地** (准看護師)  
よろしくお願いします。

**幡地** (看護補助者)  
一生懸命頑張ります。

## リハビリ室

明るく元気なプロフェッショナルチーム  
に新たなメンバーが加わりました。



**中塩** (作業療法士)  
がんばります。

**中野** (作業療法士)  
よろしくお願いします。



**篠原** (歯科衛生士)  
病院勤務は初めてなので色々ご指導をよろしくお願いします。

**森脇** (歯科衛生士)  
笑顔を絶やさず  
頑張ります。

## 臨床検査室



精度・正確・迅速をモットーに  
日々頑張っています。  
検査室のかけ声は  
“仕事はenjoy!!”

**栗田** (臨床検査技師)  
一生懸命頑張ります！

## 活動報告

### 月一ガーデンコンサート

3/2(土)に月一ガーデンコンサートを開催しました。今回はたそがれどんべえのメンバー5名の方に出演していただきました。素敵な演奏をありがとうございました。



ガーデンコンサートに  
出演して下さる方  
募集中

ローカル commons・ウィル  
TEL 0847-54-0620  
(下江)まで

### 高齢者健康医学センター

ウォーキングイベントや朗読会など定期的にイベントを開催しております。詳細は寺岡記念病院HPにてお知らせいたします。興味のある方はぜひご参加ください。



HP



高齢者健康  
医学センター

### ガーデンカフェ(認知症カフェ)

4/27(土)にガーデンカフェを開催しました。「寺岡記念病院での認知症支援の取り組み」をテーマに講演を行いました。ガーデンカフェは毎月第4土曜日の13:30~から開催しています。どなたでも参加可能です。参加希望の方は下記までご連絡ください。



参加申し込みはこちら  
寺岡記念病院  
TEL:0847-52-3140  
(担当:栗原・稲垣)

### 能登半島地震支援について報告

陽正会グループにて義援金の募金を行いました。職員から集めた義援金については、日本赤十字社(義援金名:令和6年能登半島地震災害義援金)へ寄付させていただきました。

また、当院の外来看護師(藤原)が災害支援ナースとして能登半島に災害支援に行きました。

一日も早い復旧を心よりお祈り致します。



(災害ナース)